

## 鶴保参議擁立の可能性も

# 衆院2区補選

保守党幹事長の二階俊博代議士は二日午前九時十五分から御坊事務所にて記者会見を行い、岸本光道代議士の死去に伴う四月十六日告示・二十八日投票の衆院和歌山二区補選にふれ、同党の鶴保庸介参議(三)を一回目二階立の可能性を示唆した。また、擁立した場合に参議の補選も視野に入れなければならないと、「三日の党県連役員会で擁立を協議するが、いまは選挙よりも景気回復を優先すべき時期でもある」とし、慎重な姿勢を崩さなかった。

### 二階代議士が記者会見で示唆

### きょう保守党県連で緊急役員会



「慎重に協議する必要がある」と二階代議士

年十月に二区衆院選に出馬した経験があり、「いい意欲は十分にある」と語っている。現在、補選には自民党公認を受けた前海南市長の石田真敏さん(三)と、岸本代議士の長男で元中学校教諭の岸本

健さん(三)、共産党で病院総婦長の奥村規子さん(三)の三人が出馬表明している。この日の会見では、テロで海外からの観光客が落ち込む米国の支援に向けてニューヨーク、ハワイなどへ大規模な観光使節団を派遣(観光ミッショ)ンすること、海の勇者「クヌッセン」の遺族を美浜町に招き顕彰碑に献花してもらうよう交渉していることなども報告した。



渦中の鶴保参議

まず二階代議士は衆院補選に向けた党の姿勢として①独自候補の擁立②連立で選挙協力③自由投票の三つのパターンを挙げたうえで、独自候補については「年齢が若く意欲のある鶴保参議を立てるかどうかに決する」と語り、さらに「すでに自民党から選挙協力の要請があったが、現時点で保守党がどう対応するかは白紙の状態」であることを示唆した。ただ、「鶴保参議を擁立した場合、現時点で擁立するかは半々とみられる。渦中の鶴保参議は平成八